

さらなる高みを目指して



第97回東京箱根間往復大学駅伝競走(1月2・3日開催)で13年ぶり7度目の総合優勝を果たした駒澤大学。1年生ながら、各校の実力者が並ぶ7区(21・3キ)を走る姿が記憶に残るのは、桜が原中学校出身の花尾恭輔選手です。

小学生のときに出場したロードレース大会で11位となり、10位入賞を逃した悔しさと同時に、走ることに楽しさと、もっと速くなりたいと思つたことがきっかけで、中学生になると本格的に陸上を始めます。

3年生の時には、全国中学校駅伝大会で区間賞を獲得し、鎮西学院高校へ進学後も、全国レベルで活躍。駒澤大学に進学後は、ふるさとを離れ、寮生活を送りながら、日々、練習を積み重ねています。

今回の箱根駅伝を振り返り、「自分も負けれないという気持ちで走った。1年生ということもあり、まだまだ力不足。これからもっと練習して、チームを引っ張っていきようになりたい」と力強く語ります。

故障して思うように走れなかったときもあり、乗り越える苦しさを経験したと語る花尾選手は、後輩たちに、「努力をすれば、必ず道は開ける」とエールを送ります。

「大村は、暖かい気持ちになれる場所。これからも市民の皆さんに感動と勇気を与える走りを見せたい」と、ふるさとへの思いを胸に走り続ける花尾選手の挑戦は、これからも続きます。

クローズアップ

大村人

vol.36

このコーナーは、ふるさとを思いながら、市内外で活躍する大村人、を紹介していきます。

駒澤大学

花尾 恭輔さん



Profile

はなお・きょうすけ
平成13年12月20日生まれ
桜が原中1年の時に陸上を始め、3年の全国中学駅伝では、6区で区間賞。鎮西学院高校進学後も県高校駅伝で3年連続区間賞と活躍。現在は、駒澤大学1年生。1月に出場した箱根駅伝では、総合優勝に大きく貢献。19歳。

提供:駒澤大学



右から2人目が花尾選手